

- 問1 契約年月日、商品名、契約金額、販売会社名を記載し、代金の返還請求や商品の引き取りを求める「通知書」を送付することで、一度結んだ契約を無条件に白紙に戻すことができる制度を何といいますか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. マニフェスト 2. クーリング・オフ 3. インフォームド・コンセント 4. バリアフリー
-
- 問2 1918年、日本で初めて成立した「本格的な政党内閣」について、その内容と首相の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. 大日本帝国憲法の草案作成に尽力した伊藤博文が、初代内閣総理大臣として藩閥出身者を中心に構成した内閣 2. 立憲政友会の総裁であった原敬が首相となり、陸軍・海軍・外務大臣以外の閣僚の大部分を所属党員で構成した内閣 3. 米騒動を鎮圧した寺内正毅が、軍部と官僚の支持を背景に政党の介入を一切排除して構成した内閣 4. 五・一五事件で暗殺された犬養毅が、満州事変後の混乱を收拾するために全ての政党をまとめて構成した内閣
-
- 問3 日本の司法制度において、行政が司法の構成に関与することで三権の抑制と均衡（チェック・アンド・バランス）を保つ仕組みがあります。このうち、内閣が最高裁判所の長官となる人物を特定し、天皇に奏上する行為を何と呼びますか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 指名 2. 任命 3. 弾劾 4. 罷免
-
- 問4 北欧やロシア、カナダなどの高緯度地域に広く分布する気候帯について、冬の寒さが厳しく月平均気温が氷点下になる月がある一方、夏は樹木の生育が可能なほどに気温が上がるという特徴を持つものはどれか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 乾燥帯 2. 熱帯 3. 温帯 4. 冷帯（亜寒帯）
-
- 問5 1873年に始まった地租改正において、それまでの江戸時代の年貢の納め方から変更された点として、正しい説明はどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 士族が領主として、農民から直接米を徴収するようになった。 2. 土地の耕作者が、収穫量を基準にして米で納めるようになった。 3. 土地の所有者が、地価を基準にして現金で納めるようになった。 4. 村全体が連帯責任を負い、収穫量に応じた現金を納めるようになった。
-
- 問6 国際連盟の加盟国に関する統計資料において、イギリスやフランスが長期にわたり加盟を継続しているのに対し、ドイツが1926年に加盟し、その数年後の1933年に脱退している理由として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. ソ連の脅威に対抗するために加盟したが、日本が脱退したことで組織の軍事的意味がなくなったため。 2. アメリカの加盟を条件に国際連盟に参加したが、アメリカが不参加を貫いたため失望して脱退した。 3. 敗戦国としての制裁期間が終わり国際社会に復帰したが、後にナチス政権が国際協調を拒否したため。 4. 世界恐慌の対策として他国との関税同盟を結ぶために加盟したが、経済が回復したため脱退した。
-
- 問7 タイの工業化が進展した背景について、輸出統計において自動車が大きな割合を占め、その生産の約8割を日本企業が担っているという状況から推察される、経済的な仕組みとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 輸出を制限することで国内での消費を優先させ、伝統的な手工業の保護を最優先する経済政策をとった。 2. 日本などの外国企業からの直接投資を積極的に受け入れることで、国内に多くの工場が建設され工業化が進んだ。 3. 海外からの輸入を制限し、国内市場向けの製品のみを製造する輸入代替型の工業化を国家戦略の軸とした。 4. 自国内の資源を有効活用するために、特定の農産物のみを生産するモノカルチャー経済への依存を強めた。
-
- 問8 アフリカ大陸のギニア湾付近を通過する、緯度0度の線（赤道）周辺の地域で見られる自然環境の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 下降気流が発生しやすいため、一年中雨がほとんど降らず広大な砂漠が広がる 2. 太陽のエネルギーを強く受ける低緯度地帯のため、一年を通して気温が高く降水量の多い熱帯となる 3. 夏と冬の寒暖差が激しく、季節風の影響で特定の時期にのみ集中して雨が降る 4. 偏西風や暖流の影響を強く受けるため、高緯度のわりに冬でも温暖な気候となる
-
- 問9 1894年の日清戦争から1905年の日露戦争にかけて、日本を取り巻く国際情勢は激しく変化しました。この時期に起こった次の4つの出来事について、時系列として正しい並び順になっているものはどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 三国干渉 → 義和団事件 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦 2. 日英同盟の締結 → 三国干渉 → 義和団事件 → 日露戦争の開戦 3. 義和団事件 → 三国干渉 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦 4. 三国干渉 → 日英同盟の締結 → 義和団事件 → 日露戦争の開戦
-
- 問10 平塚らいてうが雑誌「青鞥」を発行し、青鞥社を設立した目的や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 英語教育の普及を通じて、欧米の先進的な文化を直接学ぶことができる女性を育成するため 2. 工場で働く女性たちの過酷な労働環境を改善するために、労働組合を結成しストライキを行うため 3. 家父長制的な社会の中で、女性が本来持っている力を発揮し、人間としての自覚と自由を求めるため 4. 日露戦争の激化に伴い、戦場へ向かう夫や兄弟への思いを綴ることで、平和の尊さを世間に問うため
-
- 問11 社会の基盤となる道路や公園などの施設について、政府が供給の主導権を握っている理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 全ての公共施設は法律によって私有化が厳格に禁止されているため 2. 利用者が限定的であり、私企業が運営すると不平等が生じる恐れがあるため 3. 利用料金を無料にしなければならぬという国際的なルールが存在するため 4. 多額の建設費用がかかる一方で利益を上げにくく、私企業による提供が困難であるため
-
- 問12 15世紀に尚氏によって建国された琉球王国が、中国、日本、東南アジアを繋ぐ中継貿易によって繁栄を遂げた背景には、どのような当時の国際状況があったと考えられますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 日本国内の銀の生産量が減少し、琉球が中国からの金輸入を独占する代理人の役割を果たしたため。 2. 中国の明が私的な海外渡航を禁じる「海禁」政策をとる中、琉球が朝貢貿易を許された特権を利用したため。 3. 東南アジア諸国が日本との直接貿易を拒否したため、宗教的に中立な琉球が仲介役として選ばれたため。 4. モンゴル帝国の衰退により陸のシルクロードが遮断され、琉球を通る東シナ海ルートが唯一の道となったため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 クーリング・オフ	訪問販売や電話勧誘販売など、消費者が不意打ちのような形で契約を結んでしまいがちな取引において、消費者が冷静に考え直す期間を与えるための制度です。一定の期間内であれば、理由を問わず書面や電磁的記録によって契約解除を行うことができます。これは、契約自由の原則の例外として、弱い立場にある消費者を守るための重要な仕組みです。
問2	答え 2 立憲政友会の総裁であった原敬が首相となり、陸軍・海軍・外務大臣以外の閣僚の大部分を所属党員で構成した内閣	第一次世界大戦の終わりごろ、シベリア出兵を見越した米の買い占めなどにより米価が急騰し、全国で「米騒動」が発生しました。これによって倒れた寺内正毅内閣に代わり、衆議院の第一党であった立憲政友会の総裁・原敬が首相に選ばれました。原は軍部や外交の専門的なポストを除き、多くの大臣を自分の党の議員から起用したため、これが日本で最初の本格的な政党内閣と呼ばれます。これに対し、伊藤博文は日本最初の首相ですが政党内閣ではありませんでした。
問3	答え 1 指名	日本国憲法第6条第2項により、天皇は内閣の指名に基づいて最高裁判所長官を任命すると定められています。内閣が行うのは「特定の人物を選ぶ」という実質的な決定プロセスであるため、「指名」という用語が使われます。これに対し、長官以外の裁判官については内閣が直接「任命」を行います。
問4	答え 4 冷帯（亜寒帯）	冬の最寒月平均気温が氷点下（マイナス3度未満など）まで下がる一方で、夏の最暖月平均気温が10度を超える気候を指します。夏に一定以上の気温が上がるため、針葉樹の森林が育つことが可能です。提示された「1月がマイナス6.5度、7月が19.2度」というデータは、この大きな年較差を明確に示しています。
問5	答え 3 土地の所有者が、地価を基準にして現金で納めるようになった。	江戸時代の年貢は「収穫された米」を納めるものを中心でしたが、地租改正では「地価」を課税基準とし、納税方法も「現金」へと改められました。これにより、政府は農作物の作柄や価格の変動による影響を受けずに、予算を立てることが可能になりました。一方で、負担が重かったことから、後に各地で反対一揆が起こり、税率は2.5パーセントへと引き下げられました。
問6	答え 3 敗戦国としての制裁期間が終わり国際社会に復帰したが、後にナチス政権が国際協調を拒否したため。	ドイツは第一次世界大戦の敗戦国であったため当初は加盟が認められませんでした。ロカルノ条約の締結などを経て、1926年に国際社会への復帰が認められ加盟しました。しかし、1933年に政権を握ったヒトラー率いるナチスは、再軍備の要求が通らないことなどを理由に、国際協力の枠組みである連盟からの脱退を決めました。
問7	答え 2 日本などの外国企業からの直接投資を積極的に受け入れることで、国内に多くの工場が建設され工業化が進んだ。	タイの工業化は、日本をはじめとする外国企業が現地に資本を投じ、工場を建設して生産活動を行う「直接投資」によって急速に進展しました。特に自動車産業においては日本のメーカーが生産の大部分を占めており、タイは世界的な輸出拠点としての役割を果たすようになっていきます。
問8	答え 2 太陽のエネルギーを強く受ける低緯度地帯のため、一年を通して気温が高く降水量の多い熱帯となる	緯度が0度に近い赤道付近は、太陽からの熱を最も効率よく受けるため、上昇気流が発生しやすく、多雨かつ高温な気候（熱帯）が形成されます。アフリカ大陸のギニア湾からコンゴ盆地にかけては、この影響で熱帯雨林が広がっています。
問9	答え 1 三国干渉 → 義和団事件 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦	日清戦争の講和条約である下関条約の直後（1895年）、ロシア・ドイツ・フランスが遼東半島の返還を求めたのが三国干渉です。その後、清で排外主義運動である義和団事件（1900年）が起こり、これに出兵したロシアが満州に駐留し続けたため、日本は1902年にイギリスと日英同盟を結んでロシアに対抗し、1904年の日露戦争へと至りました。
問10	答え 3 家父長制的な社会の中で、女性が本来持っている力を発揮し、人間としての自覚と自由を求めるため	当時の日本は「家」の制度が強く、女性は法的・社会的に制限された立場にありました。平塚らいてうは、女性が自らの個性を磨き、精神的に自立することを重視して青鞥社を立ち上げました。他の選択肢にある女子教育（津田梅子）、反戦詩（与謝野晶子）、労働運動（赤瀬会など）も当時の重要な社会の動きですが、平塚らいてうの青鞥社結成の直接的な目的とは異なります。
問11	答え 4 多額の建設費用がかかる一方で利益を上げにくく、私企業による提供が困難であるため	社会資本は、建設や維持に膨大な費用がかかる一方で、不特定多数の人が利用するため、私企業が営利目的で提供するには適していません。しかし、これらは経済の発展や国民の安全な生活に欠かせないものであるため、政府が税金や公債を財源として整備を行い、社会全体にサービスを提供しています。
問12	答え 2 中国の明が私的な海外渡航を禁じる「海禁」政策をとる中、琉球が朝貢貿易を許された特権を利用したため。	当時の中国（明）は、民間人の勝手な海外渡航を禁じる「海禁」政策をとっており、周辺諸国との取引は「朝貢（皇帝に貢ぎ物をして返礼品を受け取る形式）」に限られていました。琉球王国はこの朝貢貿易を頻繁に行うことを許されていたため、中国の生糸や陶磁器を正規に手に入れ、それを東南アジアや日本へ転売する、という独占的な仲介ポジションを確立することができたのです。